

## ② 健康な苗を育てる 〈4月中旬～5月中旬〉

(2)

### ③ 苗を育てる (育苗) <sup>いくびょう</sup> 〈4月中旬～5月中旬〉

種をまいた育苗箱を、ビニールハウスや、ビニールをかけたトンネルの中に並べて育てます。

並べた直後は箱の上にビニールやホットカバーなどをかぶせて、芽の出る時期を揃えます。芽の長さが3センチメートルほどに伸びた時に、このおいを取りのぞきます。田植えまでの苗は、人間で言えば赤ちゃんと同じですから、十分注意をはらいます。

育苗箱を並べてから5日間くらいは、ハウスやトンネル内の温度を、昼は20～25度、夜間でも10度以上になるようにします。その後は昼は15～20度、夜間は5度以上になるように、ビニールなどをときどき開いたり閉じたりして温度を調節します。

このころの苗は、水や<sup>ようぶん</sup>養分の吸収もさかんになりますので、苗の状態や育苗箱の土の<sup>ひりょう</sup>乾き具合を見て水や肥料をあたえ、健康な苗に育てます。



早苗 [さなえ]



ビニールハウスを使った育苗  
(種をまいた育苗箱を並べているところ)



ビニールトンネルを使った育苗  
(水をやっているところ)

おいしい米づくりのひみつ よい苗、悪い苗とは ▶ 23ページをみてね!